

第一章 會議招請ニ對スル米佛伊ノ態度

六

(一)米國政府之回答

米國政府ハ英國政府ノ招請ニ對スル回答ヲ十月十日英國政府ニ交付セリ右回答ハ極メテ簡單ナルモノナルカ其ノ要旨左ノ如シ

旨
日米國十九年十月二十九日同簽要
米國政府ハ華府條約第二十一條掲記ノ問題及廣ク他ノ艦種ヲ討議スル爲華府條約署名國ヲ招集セントスル英國政府ノ海軍會議ノ招請ヲ快諾ス

(二) 俄國政府一問答

弗國文獻、一月一六四三

右圖書ハ不戦條約ヲ英米協定ノ一原則トシタルヲ歎幸トシ

六日佛國政府回答
要旨
事業ヲ促進セントヲ目的トセルヲ認メ右會議ノ開催ニ依リ規約第八條ニ規定セル義務ヲ履行シ得ヘキニ依リ佛國政府ハ欣然右招請ヲ受諾スルモノナリト述ヘ更ニ軍縮問題ノ一般條件並海軍軍縮問題ノ特殊條件ニ關スル佛國政府ノ政策ハ壽府ニ於ケル討議等ニ於テ明カナルニ依リ再言セストナシ最後ニ議題ニ關スル豫備的討議ノ件ニ言及シ右ハ招請狀掲記ノ諸點並ニ之ニ附帶スル問題及會議ニ附議セラルヘキ問題ノ全般ニ對シ佛國政府ノ見解ヲ明ニスル機會ヲ得ヘキ所以ナルヲ以テ之ヲ有益ト思考スト結ヘリ

招請狀 三對スル回答二

卷之三

二年十二月二十日英國政府究覺審

條約ハ國際紛争平和的處理並ニ侵略國ニ對スル制裁ニ關スル手續規定ヲ缺キ各國ノ安全ヲ充分ニ保障スルニ足ラサル有様ナルニ顧ミ佛國政府トシテハ聯盟規約ヲ以テ軍縮ノ基礎トスヘキモノト思考ス聯盟規約ハ不完全乍ラモ兎ニ角安全保障並ニ相互援助等ノ制度ヲ規定シ居ルヲ以テ同規約ヲ外部ヨリ充分盛立ツルニアラサレハ各國ハ有效ニ軍備ヲ縮少スルヲ得ス從テ軍縮問題ニ關スル技術的協定ノ爲ニハ先ツ以テ政治的協定ノ成立ヲ必要トシ又海軍問題ニ關スル完全ナル協定ノ爲ニハ海洋自由ノ問題及侵略國ニ對スル他關係海軍國間ノ相互援助ノ問題ニ付キテ完全ナル了解ノ成立スルコトヲ要ストノ一般論ヲ試ミタル後⁽²⁾後半ニ於テ軍縮ノ方法論トシテ往年ノ華府會議ノ如ク單ニ數學的ニ五大海軍國ノ軍備ノ狀態ノミニ着眼スルコトナク聯盟規約第八條掲記ノ諸事情ヲ充分考慮スルノ要アリトナシ次テ佛國ノ主張トシテ左記四點ヲ舉ケタリ

(1) 例舉會議ノ取扱軍事事業ノ一括概要外ナニサハシテ以テ同會議ノ於テ作成セラシバヘキ協定案ノ一
部ヲナスヘキモノナリ又海軍制限ノ方式ニ付テハ元來總順數主義ヲ主張スルモノナルモ各艦種間ノ融通ヲ認ムルニ於
テハ艦種別主義トノ折衷ヲ計ルモ差支ナシ

(口) 佛國ハ倫教會議ニ於テ陸空二軍ノ縮少問題ヲ提起スルノ意思ハナキモ其ノ地理的事情ニ鑑ミ海軍軍縮ヲ論議スルニ當リテハ陸海空軍三軍ノ牽連ヲ主張セサルヲ得ス

(二) 太平洋四國條約カ華府海軍協定ニ及ボシタル良好ナル結果ニ佛國政府ハ地中海沿岸海軍國間ニ相互保障並ニ不侵略ニ關スル協定ヲ締結シ倫敦會議ニ參加セサル「スペイン」等ノ之ニ加入スルヲ認ムルニ客ナラサルモノナルコト

三、佛國政府覺書ニ對スル英國政府覺書

前記佛國政府ノ覺書ニ對シ英國政府ハ一九三〇年一月十日大要左ノ趣旨ノ覺書ヲ佛國政府ニ交付セリ

- (イ) 英國政府ハ招請狀ヲ發スルニ當リ聯盟規約ヨリ生スル義務又ハ國ノ安全ト云フカ如キ軍縮ノ前提タル自明ノ義務ニ再ヒ言及スルノ要ナシト認メ專ラ當面ノ重大問題ニ注意ヲ集中セリ
- (ロ) 現存平和的處理條約實施確保ノ爲ニスル制裁機關ハ未タ完備セスト雖モ聯盟規約太平洋四國條約「ロカルノ」條約及就中不戰條約ノ成立ニヨリ各國ノ安全カ着々保障セラレツタル此ノ機會ニ於テ海軍軍縮ニ着手セナレハ各國民ハ失望シテ必ラスヤ再ヒ軍備擴張ニ走ルヘシ

- (ハ) 不戰條約ト聯盟規約トハ互ニ補足シ合フモノタルヘク前者ハ後者ノ未完了ノ儘ニ存シタル平和組織ヲ完成シタルモノト認ムヘキナリ英國政府カ何等留保ナク規約ノ規定ヲ容諾セルハ勿論ノ義ナルモ是ニ因リ不戰條約ノ本旨トスル軍縮ノ遲延ヲ來スヘキニアラスト信ス

- (ニ) 英國政府ハ艦種別制限ヲ以テ軍備競争及不安除去ノ最良方法トシテ支持シ來レリ然レトモ佛國妥協案（第二編第五章第二節）（參照）ニ付テハ慎重考究ヲ加ヘタルト共ニ右ヲ基礎トスル何等カノ協定妥結ノ可否ニ付審議ヲナスニ客ナラナルヘシ
- (ホ) 英國政府ハ陸、海、空ノ三軍間ニ全ク關聯ナシトスルモノニハ非ルモ又二者同時ノ處理ヲ要スルモノトハ思考シ居ラス却テ今次會議ノ執ルカ如キ方法ニヨリ所期目的ノ達成延ヒテハ準備委員會ノ企圖スル一般的軍縮會議ノ任務ヲ容易ナラシムト信ス

- (ヘ) 自國ノ地理的地位ニ充分ナル考量ヲ拂ヒツツモ佛國政府カ所要兵力ヲ定ムルニ當リ極メテ控ヘ目ナラムトスルハ英國政府ノ深ク滿足トスル所ナリ

(三) 伊國政府ノ回答

十月十四日伊國政府ハ招請受諾ノ回答ヲ英國政府ニ發シタリ

- (ト) 佛國政府ノ提唱スル地中海關係國間ノ協定ハ太平洋ニ關スル四國條約以上ニ出ツルモノナリ一切ノ地中海關係國カ聯盟國タル以上必要ノ場合共同協議スルノ便宜ハ既ニ存在ス此點ニ於テ大ナル安全保障存在スト考フルモ英國政府ハ本問題ニ付關係國ト喜ンテ意見交換ヲ行フヘシ

一九三〇年一月十九日伊國政府
要旨
答
四日伊國政府

- 右回答ハ軍縮問題特ニ海軍軍縮問題ニ對スル伊國政府ノ意嚮ハ既ニ異次ノ聲明ニ徵シテ明ナリトテ特ニ英佛海軍協定問題ニ關スル一九二八年十月六日附對英回答（1）制限ハ多數國間ニ於テ三軍ニ涉ルヲ要ス（2）陸軍及海軍ニ付テハ歐洲大陸國ノ何レヨリモ劣勢ナラサル限り徹底の軍備縮少ヲ行フ（3）海軍軍備制限方式ハ總順數主義ニ依ル（4）主力艦建造ハ一九三六年以後ニ延期ス）ヲ引用タル後伊國ハ過度ノ軍備ノ齎ラス危險ヲ除去スルノ企ニハ常ニ協力センコトヲ希望シ又今次ノ會議ハ軍縮達成上大ニ貢獻スルコトアルヘキラ確信スルカ故ニ欣然招請ヲ諾スル旨ヲ述ヘ最後ニ會議議題ニ關シ英國側ノ通告ニ接ゼンコトヲ期待シ其都度伊國側ノ意見ヲ開示スルコトヲ留保セリ